

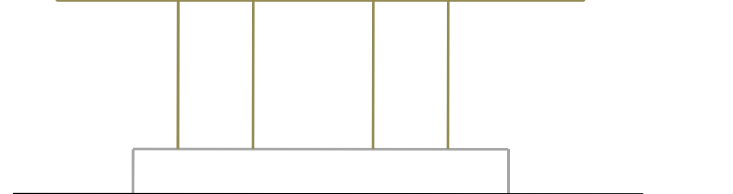
①田中交差点看板(年数?)



1m90cm



3m35 cm



足元基礎で強固に○



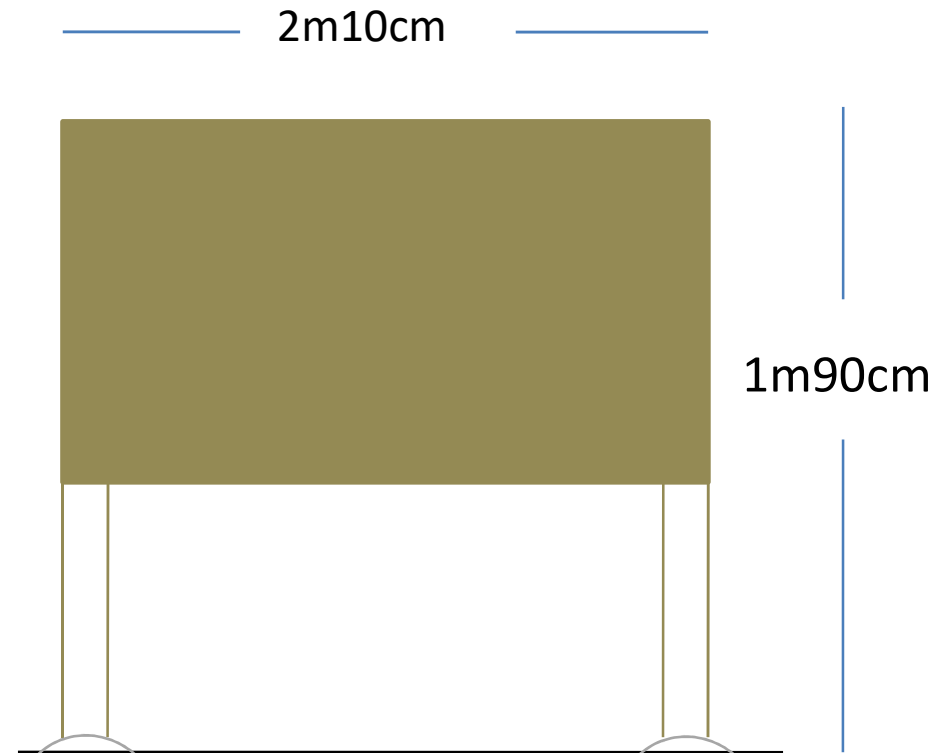
足回り板金で防水対策○



②第二庁舎前観光案内図(年数?)



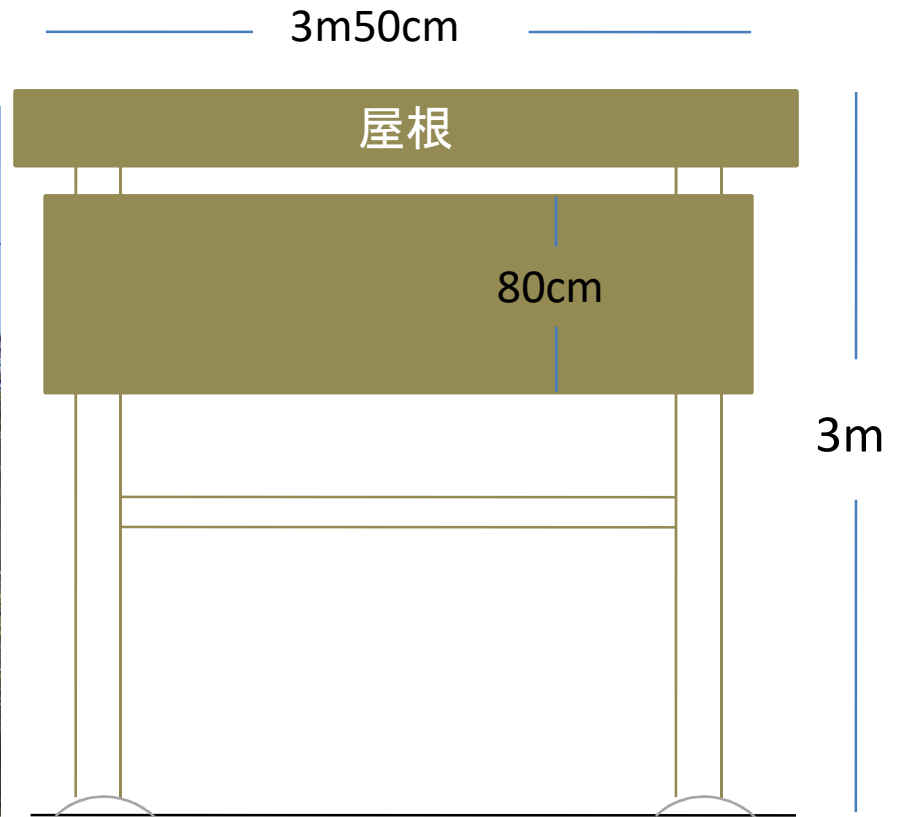
木に貼っている
ビニール系



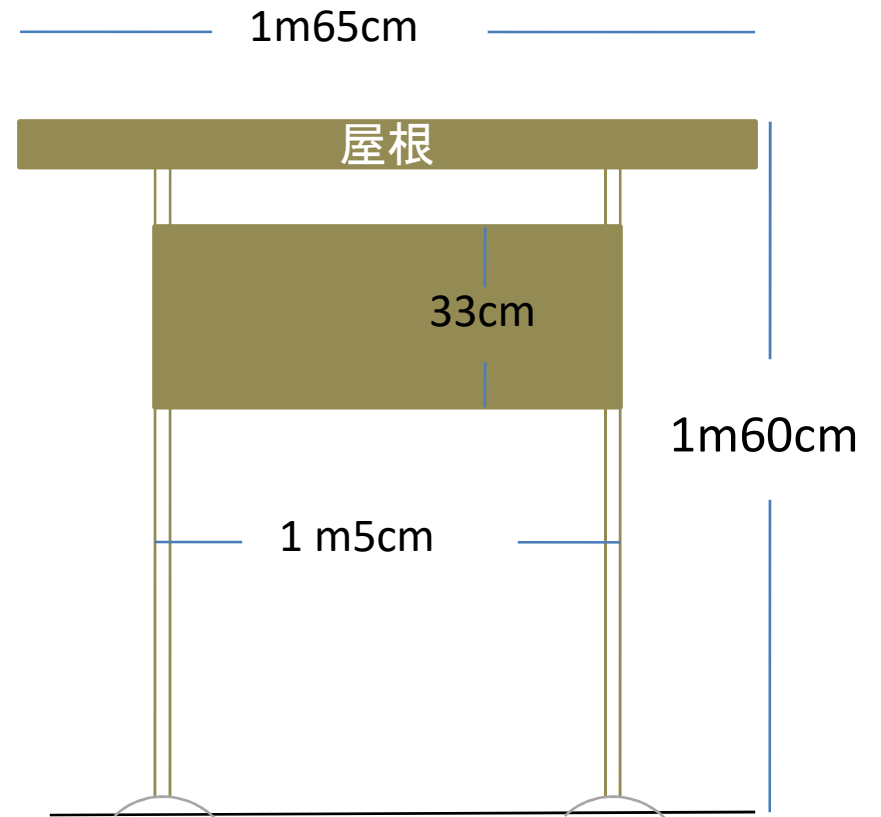
× 足に水が染み込み始めている



③四季彩館看板(20年弱)

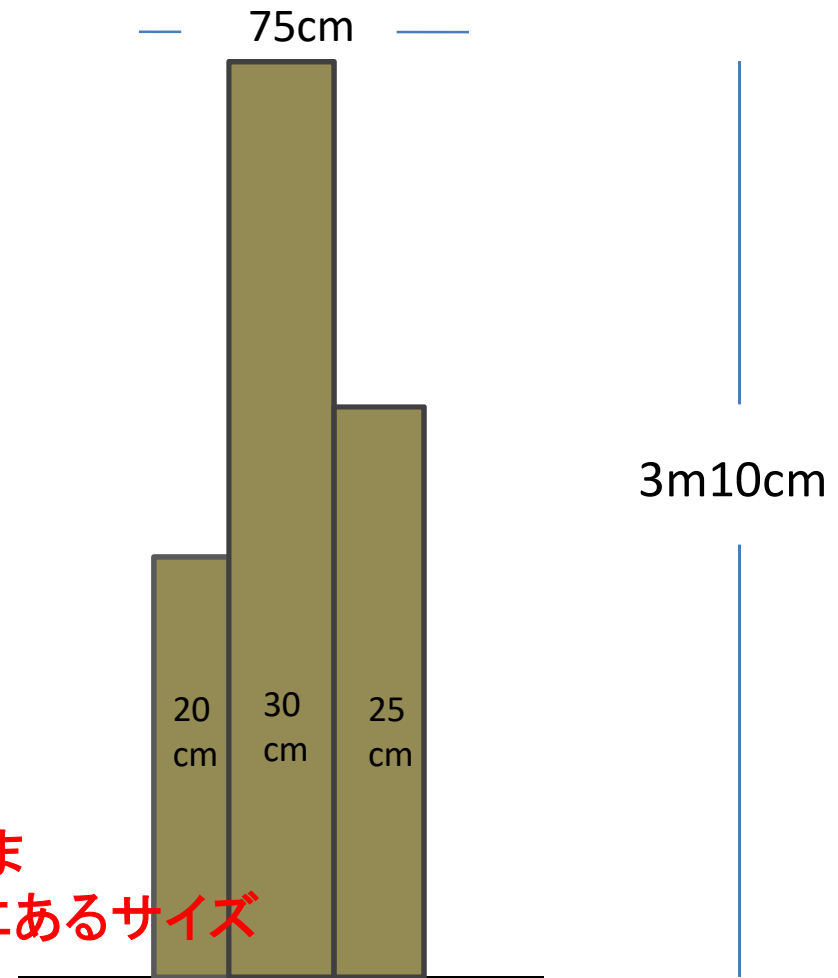


③都幾川木建看板(約20年程)



腐り難い栗の木を使っていた
定期的に手に入らない

⑤木の村キャンプ場入口看板(20年以上)



丸太のまま
ときがわにあるサイズ



× 足元が腐っている

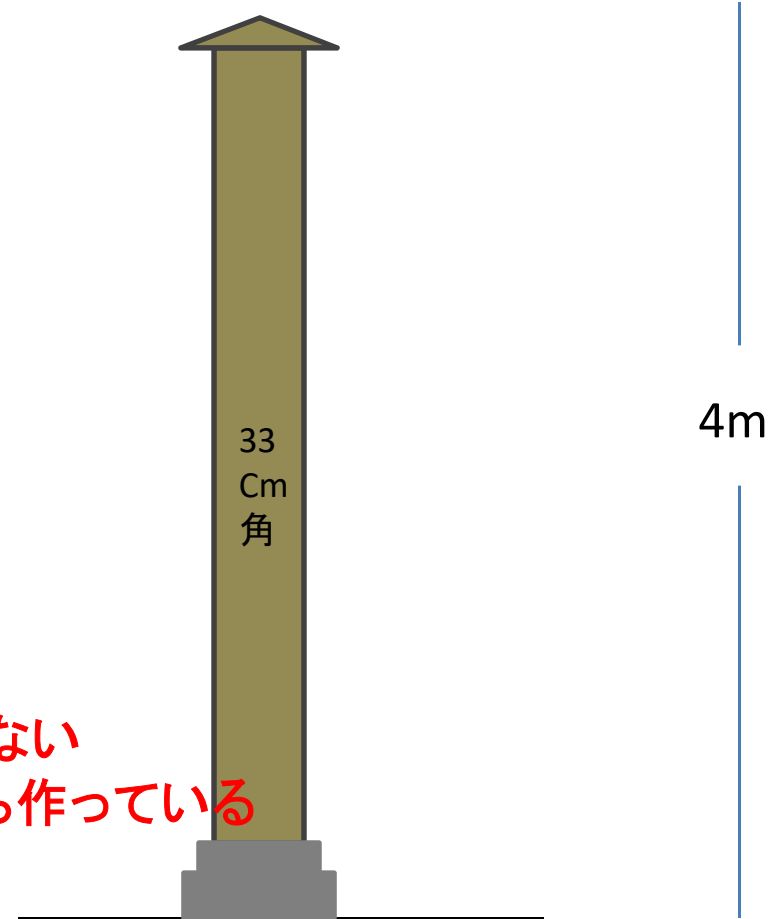


× 雨水が溜まる所が腐っている

⑥萩日吉神社の社格柱(1年3ヵ月)



都幾川には少ない
大きな丸太から作っている



●木製看板に必要な事

- ・屋根
 - ・足固め(基礎と板金で保護)
 - ・防水塗装
 - ・防水塗料の塗り替えメンテナンス(腐食対策)
- 理想は1年に1回だけれど、手間・費用を考えて3年に一回程度で良いのかも。
- どちらにしても日焼けと雨水・結露で変色はしてしまうので、経年劣化を「歴史」と考える。

●設置に必要な事

- ・ユニック(クレーン車)

(製作の視点から)

●横書き木製看板のメリット・デメリット
メリット

- ・形のバリエーションが広がる
- ・変わった形で作れば目立つ

デメリット

- ・風の影響を受けやすい
- ・柱と板を組み合わせる製作費が上がり、屋根も長くなるので製作費が上がる

●縦書き木製看板のメリット・デメリット
メリット

- ・縦書きの木製看板は少ないので目立つ(2mだと他に埋もれるので高くする)
- ・風の影響が少ない
- ・設置面積が少なく済む

デメリット

- ・下からグラデーションで変色しがち
- ・形が限定される

●ときがわ町の看板を見て感じた事

(製作の視点から)

- ・20年を考えると屋根が必ず必要。
- ・足回りは板金で防水処理が良い。
- ・横書き看板は屋根が長くなるので製作費が高くなる
- ・縦書き看板は屋根が小さくて済む
- ・縦書きの看板は「おっ」と目に付いた。
- ・木の村キャンプ場の丸太看板は参考になりそう(2本抱かせただけでも目立つ)
- ・関根さんがおっしゃった丸太を建てるイメージは、丸太をそのまま使えるので再現性も高いというメリットを感じた。
- ・横書きの場合は風の影響を受けやすいので、補強計画が必要。

上記、製作面からの木製看板調査です。デザインなどアイディアがあるかと思いますので、一つのご参考になりましたら幸いです。概算金額を改めてお伝えさせていただきます。